

平成 27 年度事業報告書

公益社団法人
愛知県医師会

事業（庶務・事務）に関する年度報告書

平成27年度の本会会務の運営並びにその事業の実施状況は、その都度、「愛知医報」等でご報告をいたしました。

その大要は次の通りであります。

○ 庶務に関する事項

1. 会員の異動

入 会 606名（県内異動も含む）

退 会 436名（ 〃 ）

死 亡 97名

現在会員数 9,178名（別表1参照）

（平成28. 3. 31現在）

2. 文書の収受、発送

収 受 24,640件

発 送 341,862件

3. 会員の栄誉

(1) 平成27年春の褒章・叙勲者に対し記念品を贈り栄誉をたたえました。

瑞宝中綬章 平野正美殿

旭日双光章 可世木成明殿

瑞宝双光章 塚原龍児殿

平成27年秋の褒章・叙勲者に対し記念品を贈り栄誉をたたえました。

瑞宝小綬章 長嶋正實殿

旭日双光章 伊藤典康殿

瑞宝双光章 山本肇殿

(2) 平成27年愛知県医師会表彰規程による被表彰会員に記念品を贈り表彰いたしました。

東 区 洪 尚 樹 殿

北 区 豊 嶋 英 明 殿

中 村 区 彦 坂 博 殿

昭 和 区	高 橋 英 城 殿
瑞 穂 区	水 野 功 一 殿
熱 田 区	岩 間 正 文 殿
天 白 区	森 田 興 二 殿
津 島 市	加 藤 錠 一 殿
小 牧 市	關 本 洋 一 殿
尾 北	渡 部 敬 俊 殿
豊 橋 市	川 上 雅 正 殿
豊 橋 市	安 井 洋 二 殿
安 城 市	山 田 一 美 殿
名古屋大学	植 村 和 正 殿

(3) 平成 27 年難病の学術的研究に功績のあった会員に記念品を贈り表彰いたしました。

愛知医科大学

小児科教授 奥 村 彰 久 殿

公立陶生病院

参事兼呼吸器・アレルギー疾患内科部長

名古屋大学医学部

医学科臨床教授 谷 口 博 之 殿

名古屋大学医学部附属病院

老年科講師 林 登志雄 殿

藤田保健衛生大学医学部

生理学講座教授 宮 地 栄 一 殿

4. 物故会員

本年度(平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月受付分)の物故会員は 97 名ありました。(別表 2 参照)
 謹んでご冥福をお祈りいたします。

○ 事業に関する事項

1. 会 議

(1) 代議員会 2 回

- ◆ 愛知県医師会第 174 回(定例)代議員会を平成 27 年 6 月 20 日(土)愛知県医師会館において開催し、次の報告、議事、協議を行いました。

報 告

- (1) 平成 26 年事業報告

議 事

- 第 1 号議案 平成 26 年度決算に関し承認を求めるの件

代議員協議会

- ◆ 愛知県医師会第 175 回（臨時）代議員会を平成 28 年 3 月 19 日（土）愛知県医師会館において開催し、次の報告、議事、協議を行いました。

報 告

- (1) 平成 28 年度事業計画報告

- (3) 平成 28 年度予算報告

議 事

- 第 1 号議案 平成 28 年度会費の賦課徴収に関する件

- 第 2 号議案 平成 28 年度会費減免申請に関する件

- 第 3 号議案 平成 28 年度入会金の賦課徴収に関する件

- 第 4 号議案 公益社団法人愛知県医師会選挙規則の一部改正に関する件

協 議

- (2) 理 事 会 37 回

- ◆ 原則毎月第 1 木曜日を除く第 2～第 5 木曜日に開催。

内容については、その都度愛知医報・ホームページ（情報公開）に掲載いたしました。

- (3) 各種委員会・部会・協議会・その他

・医学教育の向上

「現代医学」誌編集委員会 2 回

「現代医学」誌編集（小）委員会 2 回

指導医のための教育ワークショップ 1 回

治験審査会 12 回

・医師の生涯教育

生涯教育委員会 1 回

・医療政策・医事法・医業経営の調査・研究

（調査室）

調査室委員会 24 回

調査室委員会勉強会	1回
保険医協会との懇談会	6回
講演会「マイナンバー制度と医業経営」	1回
(愛知県医師会地域医療政策研究機構)	
愛知県医師会地域医療政策研究機構委員会	9回
愛知県医師会地域医療政策研究機構勉強会	1回
地域医療構想区域の検討に向けた説明会	1回
・公衆衛生の指導啓発	
健康教育委員会	6回
環境衛生委員会	4回
愛知県広域予防接種事業運営委員会	3回
県下医師会予防接種事業担当理事連絡協議会	1回
愛知県新型インフルエンザ等対策総合訓練	1回
感染症及び結核講演会	1回
感染症・予防接種研修会	1回
・地域医療の推進発展	
地域医療支援病院報告事項に関する連絡会議	1回
難治性疾患委員会	1回
第39回事例症例検討会(警察部会)	1回
検視立会医死体検案業務研修会	5回
愛知県医師会検視医研修会	1回
警察部会幹事会	1回
愛知県医師会警察部会と愛知県警察歯科医会との協議会	1回
麻薬等に関する懇談会	1回
勤務医部会幹事会	6回
愛知県糖尿病対策推進会議	1回
「愛知県国民医療推進協議会」地域集会	1回
愛知県医師会医療圏医療協議会	1回
四大学連絡協議会	1回
平成27年度『自賠責保険研修会』	1回
・救急医療・災害医療対策	
救急委員会	8回
救急委員会小委員会	2回

小児救急連携体制協議会	3回
災害時・災害訓練に役立つトリアージ研修会	1回
愛知県医師会無線システム災害想定訓練	8回
AED（BLS）講習会（名古屋市医師会と共催含む）	2回
愛知県救急医療情報センター運営連絡協議会	1回
中部国際空港消火救難・救急医療活動総合訓練	1回
県営名古屋空港消火救難総合訓練	1回
小児救急に関する研修会	3回
こどもの命を守るために事故防止と乳幼児心肺蘇生セミナー	3回
愛知県医師会 PTLS 講習会	1回
愛知県医師会 ICLS 研修会	1回
救急医療・災害医療シンポジウム	1回
愛知県災害医療コーディネーター研修	1回
・地域保健の向上	
産業保健部会幹事会	6回
学校保健部会幹事会	5回
学校保健部会学校健診委員会	3回
県下医師会学校保健担当理事連絡協議会	1回
学校保健シンポジウム	1回
愛知県学校保健健診懇談会	1回
心電図精度管理調査解析検討会	1回
平成 28 年度 定期健康診断における精度管理説明会	1回
小児 CKD（慢性腎臓病）対策講習会	1回
母体保護法指定医師審査委員会	6回
母体保護法指定医師講習会	5回
・医療保険・介護保険の充実	
（医療保険関連）	
社保集団指導講習会並びに医療安全説明会	5回
平成 28 年度診療報酬改定に伴う集団指導	5回
社保指導委員会	6回
国保連絡協議会	2回
保険診療懇談会	1回
（介護保険関連）	

地域医療介護委員会	10回
地域医療再生に関する多職種連携協議会	12回
介護保険対策推進検討会議	2回
地域包括診療加算・地域包括診療料に係るかかりつけ医研修会	1回
保健・医療・福祉の連携強化に関するシンポジウム	1回
認知症対応病院実地指導企画支援会議	7回
医療従事者の認知症対応力向上研修	3回
かかりつけ医認知症対応力向上研修	2回
認知症サポート医フォローアップ研修	1回
在宅医療サポートセンター連絡協議会	2回
在宅医療サポートセンター実務者協議会	6回
在宅医療サポートセンター実務者養成研修会	3回
・医療安全対策の推進	
医療安全対策委員会	12回
医療安全対策（小）委員会	9回
医療安全支援センター（苦情相談センター）委員会	12回
医療安全支援センター（苦情相談センター）小委員会	2回
愛知県医師会剖検システム運営協議会	1回
愛知県医療事故調査等支援団体連絡協議会	1回
・医療施設の整備	
精度管理委員会	2回
精度管理小委員会	1回
精度管理研修会	1回
共同利用施設委員会	1回
・会員の福祉の向上	
新入会員等説明懇談会	2回
会員相談窓口事例検討会	4回
・医師会及び医療関連団体との連携・県民への広報活動 (渉外)	
中部医師会連合常任委員会	13回
中部医師会連合常任委員会懇談会	2回
中部医師会連合日医代議員協議会	2回
中部医師会連合事務局長連絡協議会	2回

中部医師会連合委員総会	1回
中部医師会連合社会保険特別委員会	2回
中部医師会連合介護保険特別委員会	2回
中部医師会連合勤務医特別委員会	2回
関西医師会連合常任委員会	1回
(IT化対策)	
ホームページ・IT化対策委員会	1回
(広報)	
広報委員会	10回
医師会史編集委員会	6回
報道関係者との懇談会	10回
・医師・医療関係従事者対策	
(医師確保対策事業の推進)	
男女共同参画委員会	6回
医学生、研修医等をサポートするための会	1回
女性医師の勤務環境の整備に関する病院長、病院開設者・管理者等への講習会	1回
(医療従事者対策)	
愛知県医師会立名古屋助産師学院入学式	1回
愛知県医師会立名古屋助産師学院卒業式	1回
愛知県医師会立名古屋助産師学院運営協議会	2回
医療関連職検討委員会	2回
医療事務員講習会	30回
医療事務員資格認定試験	1回
病院事務職員のための教育ワークショップ	2回
・会務運営・総務・財務	
県下医師会長等協議会	8回
議事運営委員会	2回
人事委員会	2回
選挙管理委員会	1回
監事会	1回
臨時監事会	2回
日医代議員と本会役員との合同協議会	1回

2. 業 務

(1) 諸調査の実施

- 1) 救急患者実態調査
- 2) 急性期脳卒中に関するアンケート調査
- 3) 熱傷入院患者取扱実績報告
- 4) 学校医・園医報酬調査
- 5) 休日診療所における救急患者実態調査
- 6) 小児時間外救急の実態調査
- 7) 気管支喘息発作に関するアンケート調査
- 8) 愛知県における重症小児患者の診療実態に関する調査
- 9) 育児期継続就労支援に関するアンケート調査
- 10) 貴県における個別指導等の状況並びに次期診療報酬改定に関する要望等について
- 11) 在宅医療の提供と連携に関する実態調査
- 12) 平成 28 年度愛知県広域予防接種事業への協力について
- 13) 貴県における社保・国保の審査に関する調査について
- 14) 急性心筋梗塞に関するアンケート調査について

(2) 会報・医学雑誌その他の発行

- ・愛知医報
- ・「現代医学」誌 第 63 巻 1 号（Web 版）
- ・会員意識及び実態調査結果（平成 25 年 10 月実施）

(3) 医学教育の向上

・現代医学

「現代医学」誌編集委員会において、7 月開催時に第 64 巻 1 号（平成 28 年 6 月掲載）、1 月開催時に第 64 巻 2 号（平成 28 年 12 月掲載）の内容を詳細に検討いたしました。

また、「現代医学」誌原稿規定内容について、検討し、見直しました。「現代医学」誌においては、第 63 巻 1 号を発行いたしました。

・スポーツ医学

- 1) 健康スポーツ医の養成とその資質向上を通して地域保健活動の一環である健康スポーツ医活動の推進を図るために、日本医師会が定めた講習科目に基づく健康スポーツ医学講習会を修了したと認められる医師に、日本医師会認定健康スポーツ医の認定証が交付されます。本会ではその新規・更新に係る手続きを行いました。

- 2) 各団体が実施する研修会において、日本医師会認定健康スポーツ医制度における健康スポーツ医学再研修会としての承認申請の手続きを行いました。また、日本医師会承認の健康スポーツ医学再研修会を愛知医報に掲載して周知いたしました。
- 3) 本会主催の日本医師会認定健康スポーツ医学再研修会を、愛知県医師会館地下健康教育講堂において、10月9日(金)に「脊椎脊髄のスポーツ傷害」と題し、名古屋第二赤十字病院副院長、整形外科・脊椎脊髄外科部長 佐藤公治先生を講師として、11月4日(水)に「運動器スポーツ傷害の病因-movementの問題-」と題し、中京大学スポーツ科学部教授・保健センター長 清水卓也先生を講師として開催し、合計126名の参加者があり、受講証明書を配付いたしました。

・治験推進事業

会員による EBM (Evidence-Based Medicine) の実践を目的として、臨床試験及び製造販売後臨床試験等の実施ネットワークを構築かつ推進するため、治験依頼者からの治験相談、治験実施医療機関の登録及び環境整備の支援を行いました。

本会治験審査会は、主として製薬会社主導の治験審査を行っており、治験実施医療機関が治験を安全かつスムーズに行えるよう、毎月治験審査会を開催いたしました。なお、本期間中の新規案件は2件でした。

また、新たな治験実施医療機関の拡充を目的として一昨年度より開始したアンケート調査において、2次調査の結果をもとに施設訪問を行い、新たに7施設が登録医療機関として追加となりました。

(4) 医師の生涯教育

・生涯教育

各会員に向けて、自身の生涯教育単位、カリキュラムコード取得状況を確認いただくための封筒を作成し、配付いたしました。4月4日(土)ミッドランドホールにおいて「日医生涯教育協力講座セミナー かかりつけ医における実戦 COPDの診断と治療」(共催:日本医師会・愛知県医師会)を開催し、参加者数は215名でありました。

「日本医師会生涯教育講座」を別紙のとおり、開催いたしました。

また、平成27年度日本医師会生涯教育制度の単位申請をするにあたり、審査及び登録を行うとともに、主催者から提出される報告書を元に、「生涯教育管理システム」に登録いたしました。

(5) 医療政策・医事法・医業経営の調査・研究

・調査室

- 1) マスメディア・業界誌はもとより、日医・関係団体、国会・地方議員、行政、有識者等の幅広い人脈を活かし、医療問題に限らずそれに影響する国内外の政治情勢、経済動向などに関する情報を収集し、議論を重ねました。その上で、あるべき医療政策の実現に向けて必要な提言・要望を行い、安心・安全な医療提供体制を維持する上で、健全な医療経営に向けた環境整備が必要であるとの考えのもと、関係法令の解釈、診療報酬改定や税制改正に伴う影響等についても検証いたしました。
- 2) 医療税制検討委員会に委員として参加し、会長諮問事項について、検討・協議いたしました。
- 3) 医療関係制度を始め、近年注目される事項についての最新知見を愛知医報に調査室だよりとして掲載し、会員への周知をいたしました。
- 4) 愛知県医師会調査室委員会勉強会として6月21日(日)に「医療機関における消費税の最新動向」をテーマに社会医療法人大雄会理事長・四病院団体協議会税制委員会委員長・日本医療法人協会副会長の伊藤伸一先生にご講演いただき、65名の参加がありました。
- 5) 平成25年10月に実施した「会員意識及び実態調査」について、回収したアンケートを元に結果を分析し、調査結果を全会員に送付、ホームページにて公開いたしました。
- 6) 平成27年10月からのマイナンバー制度施行に伴い、8月19日(水)に講演会「マイナンバー制度と医療経営」をテーマに税理士法人アズール代表社員・公認会計士税理士の長谷川敏也氏にご講演いただき、93名の参加がありました。

・愛知県医師会地域医療政策研究機構

毎月1回委員会を開催し、主に「地域医療構想区域の設定」について検討を重ねました。また、厚生労働省が行う地域医療構想策定研修(7月13日(月)～14日(火):国立保健医療科学院講堂)に担当理事及び担当事務員が参加し、構想区域設定検討支援ツールの利用方法を学びました。さらに、県下医師会長及び本会の医療圏医療協議会委員を対象に、8月10日(月)に「地域医療構想区域の検討に向けた説明会」を開催し、愛知県の構想区域(案)について厚生労働省医政局地域医療計画課課長補佐の廣澤友也先生、愛知県健康福祉部医療福祉計画課の植羅哲也主幹をお招きし、それぞれ「地域医療構想と将来の医療提供体制について」「構想区域(案)について」説明いただき、51名の参加がありました。また、3月8日(火)には、愛知県医師会地域医療政策研究機構勉強会に名古屋大学医学部附属病院メディカルITセンター外部連携部門長 病院助教の小林大介氏をお招きし、「データを用いた地域医療や病院経営の分析」をテーマにご講義いただきました。

・地域医療再生調査研究事業

愛知県における在宅医療のあり方の検討および円滑な推進を図ることを目的に、地域医療再生に関する多職種連携協議会を開催いたしました。当協議会では在宅医療を担う各職種

間における諸課題・対応策に係る実態調査や連携ツール（オヤッ?と Card・システム）の改訂、事例検討会を企画実施いたしました。

(6) 公衆衛生の指導啓発

・健康教育

- 1) 県民を対象とした健康教育講座を各分科会等の協力のもと、本会館及びあいち健康プラザ等において別表のとおり開催いたしました。
- 2) 県民の「誰もが・いつでも・どこでも」正しい健康情報を手に入れられるよう、愛知県の委託事業として、健康情報の総合サイト「あいち健康ナビ」を運用し、一部機能を追加いたしました。

・環境衛生

- 1) 感染症、予防接種、環境保健、結核等対策につきまして、県当局と連携し、地域医師会への情報提供を行いました。特に協議が必要な事項につきましては、環境衛生委員会にて協議・検討いたしました。
また、環境衛生委員会では、結核・感染症対策医師講習会実施事業を地区医師会とともに企画いたしました。
- 2) 愛知県健康福祉部保健医療局健康対策課が主催する関係会議へ出席し、検討・協議いたしました。
- 3) 平成 27 年度結核・感染症対策講習事業として、名古屋市医師会・知多郡医師会・岡崎市医師会に事業を委託し、愛知県医師会でも 10 月 17 日(土)に「平成 27 年度感染症及び結核講演会」を開催し、「愛知県における結核・感染症の動向」として愛知県衛生研究所所長皆川洋子先生、「変貌する新興・再興感染症とその対策」として国立感染症研究所感染症疫学センター長大石和徳先生にご講演いただき、173 名の参加がありました。
- 4) 日本医師会予防接種・感染症危機管理対策委員会、公衆衛生委員会に委員として参加し、会長諮問事項について、検討・協議いたしました。
- 5) 11 月 27 日(金)に、政府全体訓練と連携した愛知県新型インフルエンザ等対策訓練を実施し、県下医師会のご協力のもと、情報伝達訓練を行いました。
- 6) 公益財団法人エイズ予防財団の委託研修として、また、子ども予防接種週間に鑑み、「感染症・予防接種研修会」を開催し、「“安心してください”～HIV 感染症診療に必要なスキルと HIV 陽性者の現況～」と題し、国立病院機構名古屋医療センターエイズ総合診療部長横幕能行先生、「予防接種の考え方と最近の話題」と題し、名鉄病院予防接種センター顧問宮津光伸先生にご講演いただき、194 名の参加がありました。

・広域予防接種事業

- 1) 愛知県広域予防接種事業運営委員会では、事故報告への対応、今後の対象ワクチン、各種検討事項等の検討・協議いたしました。
- 2) 平成 28 年 4 月より B 類疾病定期予防接種の広域化を開始するため、5 月 18 日(月)、6 月 15 日(月)、7 月 31 日(金)、2 月 15 日(月)にワーキング会議を開催し、県内市町村と実施に向け調整を行いました。
- 3) 8 月 31 日(月)に開催した調整会議にて B 類疾病定期予防接種の広域化について、全市町村の了承を得ました。
- 4) 10 月 19 日(月)に、県下医師会予防接種事業担当理事連絡協議会(B 類疾病定期予防接種広域化に関する説明会)を開催し、平成 28 年 4 月より開始する B 類疾病定期予防接種広域化事業の説明をいたしました。
- 5) 平成 28 年度の本事業への協力依頼を 2,615 医療機関へ送付いたしました。
- 6) 毎月 20 日に接種協力医療機関・医師名簿を更新し、愛知県に提出しています。
また、課題や事故、書類の返戻など各種事項に対し、県下医師会長等協議会等を通じ、留意事項として伝達いたしました。
- 7) 3 月 1 日現在で、1,658 医療機関にご登録いただいております。

(7) 地域医療の推進発展

・医療連携

(医療計画)

各医療圏の医師会・病院関係者等が地域特性に応じた医療連携を視野に入れ、具体的な事案の意見交換並びに活動を通じ、それぞれの医療圏における保健・医療・福祉提供体制の整備及び充実を図ることを目的とし、愛知県医師会医療圏医療協議会を設けております。本年度は 3 月 14 日に開催し、地域医療構想について話し合いました。

(病診連携)

地域医療支援病院の運営委員会や、大学の運営協議会等の委員として出席し、地域の病診連携の現状及びその問題点の把握に努めました。

また、7 月 8 日(水)に「地域医療支援病院報告事項に関する連絡会議」を開催し、本会理事が関係する地域医療支援病院の病診連携事務ご担当者と各実績データについて意見交換を行いました。

・難治性疾患対策

- 1) 難病相談室の月平均の相談件数は、延 196 例でありました。
- 2) 6 月 26 日(金)に中村保健所にて開催された「平成 27 年度難病医療生活相談事業(患者・

家族のつどい) 」に講師を派遣いたしました。

- 3) 7月29日(水)に開催された「平成27年度岡崎市難病対策ネットワーク会議」に参画いたしました。

- 4) 「難病グループワーク(疾患別患者・家族のつどい)」を以下のように実施いたしました。

障害年金勉強会	平成27年12月2日(水)
網膜色素変性症	平成27年12月7日(月)
障害年金勉強会	平成27年12月14日(月)
患者力UPのために	平成28年1月13日(水)
クローン病	平成28年1月14日(木)
障害年金勉強会	平成28年2月8日(月)
就労勉強会	平成28年3月15日(火)

合計125名の参加がありました。

- 5) 「難病講習会」を10月28日(水)、11月4日(水)、11月11日(水)に愛知県、名古屋市と共催にて開催し、合計366名の参加者がありました。

- 6) 11月11日(水)に北保健所にて開催された「平成27年度難病患者生活相談事業(患者・家族のつどい)」に講師を派遣いたしました。

- 7) 12月17日(木)に開催された「平成27年度愛知県難病医療連絡協議会・連絡会(合同会議)」に参画いたしました。

- 8) 12月26日(土)に開催された「DebRA 表皮水疱症友の会名古屋交流会」に講師を派遣いたしました。

- 9) 愛知県から難病指定医等研修実施事業の委託を受け、協力難病指定医研修を6月13日(土)、7月11日(土)、11月28日(土)、1月23日(土)に開催し、合計262名の参加がありました。

- 10) 愛知県から難病指定医等研修実施事業の委託を受け、難病指定医研修を1月31日(日)、2月28日(日)に開催し、合計501名の参加がありました。

- 11) 愛知県・名古屋市から小児慢性特定疾病指定医等研修実施事業の委託を受け、小児慢性特定疾病指定医研修を3月13日(日)に開催し、合計109名の参加がありました。

- 12) 2月26日(金)に名古屋人権啓発センターにて開催された「平成27年度難病保健活動研修」に講師を派遣いたしました。

- 13) 3月2日(水)に愛知県三の丸庁舎にて開催された「平成27年度小児慢性特定疾病児童等自立支援研修会」に講師を派遣いたしました。

- 14) 3月9日(水)に刈谷豊田総合病院にて開催された「平成27年度難病患者地域ケア推進会議」に参画いたしました。

・糖尿病対策

- 1) 8月5日(水)に「愛知県糖尿病対策推進会議」を開催し、糖尿病対策におけるかかりつけ医機能の充実を図るために、本年度も学術講演会を企画し内容について検討いたしました。
- 2) 6月から12月の期間において、愛知県内6箇所の健診機関に依頼し、健診・人間ドック受診者を対象に「問診票を利用した糖尿病検診の有用性調査」を実施いたしました。より多くの方々に糖尿病の危険性を認識していただくため、問診票の結果と糖尿病の関連性を分析し、その結果を踏まえて愛知県における糖尿病対策に役立てました。
- 3) 世界糖尿病デーブルーライトアップ事業の経費補助について、愛知県糖尿病対策推進会議が窓口となり実施団体を取り纏めて、世界糖尿病デー実行委員会への申請と実施後の報告の手続きを行いました。
- 4) 10月に県民向けに愛知県医師会ホームページに掲載している「愛いれしび」の糖尿病教室・教育入院のコーナーの情報更新を実施いたしました。
- 5) 12月6日(日)に愛知県歯科医師会館で開催された「愛知県歯科医師会・愛知県医師会 平成27年度 医療連携講演会」に共催し、106名の参加者がありました。
- 6) 2月27日(土)に栄ガスビル5階栄ガスホールにおいて「平成27年度愛知県糖尿病対策推進会議 学術講演会」を開催し、237名の参加者がありました。
- 7) 2月に県下医師会を対象に、地区医師会における禁煙への取組みに関するアンケート調査を実施しました。
- 8) 愛知県健康づくり推進協議会、公益財団法人愛知腎臓財団理事会・臓器提供推進委員会、愛知県健康づくり推進協議会健康増進部会・がん対策部会、愛知県慢性閉塞性肺疾患(COPD)対策会議、愛知県歯周病対策機能連携検討会議、愛知県たばこ対策推進会議、愛知県COPDネットワーク会議、東海がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン合同会議に出席し、検討・協議いたしました。

・四大学連絡協議会

5月21日(木)に、名古屋大学、名古屋市立大学、愛知医科大学、藤田保健衛生大学の学長や医学部学長・病院長をお招きし、今後の地域医療の進展や医療界における問題点等について検討を行いました。

・在宅医療

- 1) 県内全域の在宅医療提供体制の整備および推進することを目的に、平成27年4月より「在宅医療サポートセンター事業」を展開しております。
具体的には、県内全ての地区医師会に在宅医療サポートセンター(42か所)を、原則として二次医療圏ごと(名古屋医療圏は4か所)に在宅医療中核サポートセンター(15か

所)を設置し、在宅医療提供体制構築の支援や在宅医療に関する相談窓口の設置、後方支援病院の確保や退院調整機能の構築などの取り組みを実施いたしました。

また、全体の情報収集および調整機能は本会地域包括ケア推進室が担い、各地域の課題等を把握検討するため定期的に合同会議(在宅医療サポートセンター連絡協議会、実務者協議会)を開催し、円滑な事業運営に努めました。

なお、当事業は地域医療介護総合確保基金(医療分)の活用によるため、平成27~29年度までの3年間実施する時限事業であります。

- 2) 在宅医療サポートセンター連絡協議会を4月27日(月)、3月16日(水)に開催いたしました。
- 3) 在宅医療サポートセンター実務者協議会を5月29日(金)、7月31日(金)、9月25日(金)、11月24日(火)、1月29日(金)、3月16日(水)に開催いたしました。
- 4) 在宅医療サポートセンター実務者養成研修会を9月25日(金)、11月24日(火)、1月29日(金)に開催いたしました。
- 5) 各サポートセンターの運営状況の把握および会計処理の適正化を図るため、定期的な訪問調査を行いました。

・警察医

警察行政全般に対し、事業計画に従い諸問題を検討いたしました。

愛知県警察医会と共催にて、第39回事例症例検討会を開催し、愛知県警察医会との連携推進を図りました。

3月末時点で、検視立会医に179名が登録いたしました。大規模災害等に向けて迅速かつ円滑に検視・検案が行えるように、愛知県警察・愛知県医師会・愛知県歯科医師会の3団体で12月21日(月)に愛知県警察本部にて協定書を締結いたしました。

・勤務医

勤務医部会は、勤務医の学術の向上、勤務環境の改善、福祉の増進、相互の連帯・親睦を図ること等を目的としており、会員勤務医の医師会諸活動への参加を促すとともに、医師会未加入の勤務医にも医師会活動全般をより深く理解していただき、医師会への入会を働きかけるよう様々な勤務医対策の検討を行いました。

具体的には、隔月開催の定例幹事会において、ハラスメント問題や新専門医制度等、勤務医に関わる問題について検討いたしました。

広報活動としては、「愛知医報」の「勤務医部会だより」に、幹事会議事内容の報告や、幹事が交代で執筆したコラムを掲載いたしました。

10月24日(土)には秋田県で「全国医師会勤務医部会連絡協議会(テーマ:日本の国情から見た理想的な勤務医とその将来像-地域医療充実へのロードマップ)」が開催され、本

部会から6名が出席いたしました。

また、8月23日(日)、10月12日(月・祝)の2回にわたり「中部医師会連合勤務医特別委員会」が開催され、(1)医療事故調査制度、(2)医療勤務環境改善支援センター、(3)勤務医の医師会への加入策の3点について協議がなされ、11月21日(土)の「中部医師会連合委員総会」において報告が行われました。

この他、本部会の重要な活動として、愛知県勤務医師生活協同組合と連携し、勤務医の福利厚生の上にも力を入れました。

6月17日(水)には、愛知県勤務医師生活協同組合総会に先立ち、日本福祉大学学長二木立先生を講師としてお招きし、「第三次安倍内閣の医療改革と「地域包括ケアシステム」・「地域医療構想」」と題して講演会を共催し、78名の参加がありました。

・自殺対策

- 1) 7月21日(火)に愛知県自治センターで開催された平成27年度愛知県自殺対策推進協議会に出席いたしました。
- 2) うつ病の早期発見・早期治療による一層の自殺対策の推進を図るため、厚生労働省「かかりつけ医等心の健康対応力向上研修事業」を愛知県より受託し、下記のとおり研修会を開催いたしました。

8月9日(日)	13:00~17:00	名鉄ニューグランドホテル	参加者:41名
11月15日(日)	13:00~17:00	ホテルクラウンパレス知立	参加者:28名
12月13日(日)	13:00~17:00	中日パレス	参加者:44名

・日医電子認証センター(日本医師会認証局)

医師資格証発行希望者の受付・事前審査・本審査を行う地域受付審査局(LRA)を平成27年2月16日に開設し、今年度は61件の本審査を実施いたしました。また、25地区医師会では受付・事前審査を実施し、本審査を本会で行いました(上記61件に含む)。なお、名古屋市医師会、豊橋市医師会、豊田加茂医師会では本会同様にLRAが開設されており、所属会員の受付から本審査までを行っております。

(8) 救急医療・災害医療対策

・災害・救急医療対策

- 1) 愛知県広域災害・救急医療情報システム並びに愛知県医師会無線システム、災害時優先携帯電話の運用訓練を6月2日、7月7日、8月2日、10月6日、11月4日、12月1日、2月3日、3月1日に行い、無線機等の使用方法の確認と災害を想定した訓練を行いました。
- 2) 医師、医療従事者、消防関係者対象の災害時・災害訓練に役立つトリアージ研修会を6

月 21 日に開催し、119 名が参加し、修了証を配付いたしました。

- 3) 日本医師会、厚生労働省、総務省消防庁、県が作成した救急医療週間ポスター、CAB + D カードの配付を行い、救急週間の啓発に努めました。
- 4) 名古屋市医師会との共催による AED (BLS) 講習会 (名古屋市医師会館) を 8 月 27 日に、本会主催の AED (BLS) 講習会 (稲沢市医師会館) を 12 月 18 日に開催し、医師、医療従事者等を含め 37 名が参加し、修了証を配付いたしました。
- 5) 小児救急に関する研修会を医師・医療従事者・学校関係者を対象に 9 月 3 日、12 月 14 日、3 月 3 日に開催し、508 名が参加し、修了証を配付いたしました。
- 6) 10 月 1 日に中部国際空港消火救難・救急医療活動総合訓練、11 月 5 日に県営名古屋空港消火救難総合訓練に参加し、愛知県救急医療情報センターの情報収集・提供活動として、医師会無線・災害時優先携帯電話等を利用し、後方搬送医療機関の空床状況、受入可能な患者数等の情報を確認し、現場本部にて後方搬送時の判断状況として提供いたしました。
- 7) こどもの命を守るために 事故防止と乳幼児心肺蘇生セミナーを保育園または幼稚園に勤務している方を対象に 10 月 9 日、12 月 22 日、3 月 15 日に開催し、134 名が参加し、修了証を配付いたしました。
- 8) 愛知県医師会 PTLIS 講習会を医師を対象に 11 月 15 日に開催し、20 名が参加し、修了証を配付いたしました。
- 9) 愛知県災害医療コーディネーター研修を愛知県・愛知医大との共催により 1 月 30 日、31 日に開催し、保健所長・地域災害医療コーディネーター・地区医師会長など 91 名の参加者がありました。
- 10) 愛知県医師会 ICLS 研修会を医師・看護師を対象に 2 月 14 日に開催し、23 名の参加者がありました。
- 11) 第 34 回救急医療・災害医療シンポジウムを 3 月 5 日 (土) 開催し、133 名の参加者がありました。

・救急医療情報システム

救急患者実態調査、急性期脳卒中に関するアンケート調査、熱傷入院患者取扱実績報告、気管支喘息に関するアンケート調査、急性心筋梗塞に関するアンケート調査、休日診療所における救急患者実態調査を昨年引き続き、実施いたしました。

(9) 地域保健の向上

・産業保健

- 1) 産業医学振興財団の委託事業である産業医研修事業について、産業医研修として、リフ

レッシュ研修、スキルアップ専門研修、スキルアップ実地研修を日本医師会認定産業医研修会として、産業医研修連絡協議会を本会産業保健部会幹事会として実施いたしました。また、地区医師会、関係団体等の行う日本医師会認定産業医研修会に共催いたしました。

- 2) 日本医師会認定産業医については、新規申請者 144 名および更新申請者 486 名が認定を受けました。
- 3) 10 月 15 日 (木) に日本医師会館で開催された第 37 回産業保健活動推進全国会議に出席いたしました。

・学校保健の推進

- 1) 学校保健部会幹事会・学校健診委員会において、学校医・園医報酬、県立高等学校並びに県下小中学校の心電図精度管理等について、検討・協議いたしました。
- 2) 愛知県教育委員会、愛知県学校保健会等の関係会議へ出席し、検討・協議いたしました。また、愛知県学校保健会、愛知県養護教育研究会の行事に参加いたしました。
- 3) 7 月 5 日 (日) に心電図精度管理調査解析検討会を開催し、健診機関、教育委員会から提出のあった心電図に関し、学校健診委員会の委員を中心に解析が行われました。
- 4) 8 月 24 日 (月) に小児 CKD (慢性腎臓病) 対策講習会を本会館にて開催し、45 名の参加者がありました。
- 5) 日本医師会学校保健委員会に委員として参加し、会長諮問事項について、検討・協議いたしました。
- 6) 11 月 30 日 (月) に「県下医師会学校保健担当理事連絡協議会～児童生徒等の健康診断の留意点について～」を開催し、「学校保健安全法施行規則の一部改正について」を本会より、「運動器検診について」をたつや整形外科クリニック院長加藤龍也先生より、「28 年度からの色覚検査」を医療法人とつか眼科理事長戸塚伸吉先生よりご説明いただきました。
- 7) 12 月 5 日 (土) に第 46 回全国学校保健・学校医大会 (松山市) が開催され、本会からも出席いたしました。「みんなで見守る子どもの成長」と題し稲坂博先生、長嶋正實先生の 2 名が発表いたしました。
- 8) 1 月 11 日 (月・祝) に第 31 回学校保健健診懇談会を開催し、95 名の参加者がありました。定例報告として、「平成 27 年度心電図精度管理実施報告」を名古屋大学医学部附属病院小児科講師の加藤太一先生、「学校心臓検診における QT 間隔の測定について」を愛知県済生会リハビリテーション病院院長の長嶋正實先生、「愛知県における学校検尿の現状 2015」を名古屋学芸大学ヒューマンケア学部教授の都築一夫先生、「小児の CKD 対策と新しいデバイス」を日本赤十字豊田看護大学専門基礎 (臨床医学) 教授の上村治

先生より報告いただきました。続いて、特別講演として、「学校におけるアレルギー対応」と題し、昭和大学医学部小児科学講座講師の今井孝成先生よりご講演いただきました。

- 9) 3月6日(日)に学校保健シンポジウムを開催し、115名の参加がありました。特別講演として、「学校管理下の傷害を予防するー変えられるものを見つけ、変えられるものを変える」と題し、緑園こどもクリニック院長の山中龍宏先生にご講演いただきました。引き続きシンポジウムでは、「学校現場におけるスポーツ外傷・障害について」をテーマに、「学校の管理下における災害発生の現況」と題し、独立行政法人日本スポーツ振興センター名古屋支所業務推進課の山本俊博課長、「学校現場におけるスポーツ眼外傷」と題し、昭和大学兼任講師の戸塚伸吉先生、「成長期のスポーツ外傷・障害」と題し、公益財団法人スポーツ医・科学研究所診療部副部長の熊澤雅樹先生、「歯科口腔領域におけるスポーツ障害・外傷への対応」と題し、一般社団法人愛知県歯科医師会理事橋本雅範先生、「地域と連携したけが予防の取組」と題し、愛知県立豊橋商業高等学校養護教諭の藤田祐子先生よりご発表いただき、会場から多くの質問が寄せられました。

- 10) 3月18日(金)に平成28年度定期健康診断における精度管理説明会を開催し、平成28年度に愛知県立学校の健診を実施する13の健診機関に対し、愛知県立学校腎臓検診・心臓検診に対して学校保健部会学校健診委員会が行う精度管理について説明いたしました。

・母体保護法指定医師の指定

- 1) 4月から3月までに39名の母体保護法指定医師を指定いたしました。新規指定医師等に対しては、指導講習会を実施いたしました。

3月末日における母体保護法指定医師は、454名です。

- 2) 母体保護法指定医師に対し、6月13日(土)・7月18日(土)・8月22日(土)・9月26日(土)・10月31日(土)に母体保護法指定医師講習会を開催いたしました。

(10) 医療保険・介護保険の充実

(医療保険関連)

・社会保険

- 1) 保険診療の質的向上及び適正化を図るため、保険医療機関に対する指導監査の立会いを実施いたしました。
- 2) 会員を対象に、社保集団指導講習会並びに医療安全説明会を5回実施いたしました。
- 3) 中部各県による情報収集および意見交換等を目的に、7月20日(月・祝)、8月30日(日)開催の「中部医師会連合社会保険特別委員会」へ出席いたしました。
- 4) 平成27年度指定更新時集団指導を10月7日(水)、2月4日(木)に東海北陸厚生局、愛知

県との共催で開催いたしました。

- 5) 平成 28 年度診療報酬改定に伴う集団指導を 3 月 19 日 (土)、21 日 (月・祝)、23 日 (水)、25 日 (金)、26 日 (土) に東海北陸厚生局、愛知県との共催で開催いたしました。

(介護保険関連)

・介護保険

- 1) 地域医療介護委員会では介護保険、高齢者福祉、障害者福祉、認知症対策等に係る関連事業の検討、各地域の諸問題に関する情報交換を行い、地区医師会および行政との連携体制の強化を図っております。
- 2) 7 月 12 日 (日) には「地域包括診療加算・地域包括診療料に係るかかりつけ医研修会」を開催し、257 名の参加者がありました。
- 3) 8 月 9 日 (日)、9 月 6 日 (日) に「中部医師会連合介護保険特別委員会」が開催され、中部各県の地域包括ケアシステム構築に向けた取組みや認知症対策、次期介護報酬改定に係る情報収集および意見交換が行われました。
- 4) 8 月 8 日 (土)、9 月 19 日 (土)、10 月 10 日 (土) に「医療従事者の認知症対応力向上研修」を開催し、316 名の参加者がありました。
- 5) 10 月 24 日 (土)、11 月 14 日 (土) に「かかりつけ医認知症対応力向上研修」を開催し、135 名の参加者がありました。
- 6) 12 月 12 日 (土) に「認知症サポート医フォローアップ研修」を開催し、49 名の参加者がありました。
- 7) 12 月 19 日 (土) に「保健・医療・福祉の連携強化に関するシンポジウム (テーマ：認知症患者を地域でどう支えていくか)」を開催し、227 名の参加者がありました。
- 8) 愛知医報等を通じて会員および関係機関へ「あいち在宅医療ネット」の周知啓発を行い、新規登録医療機関の募集や登録情報の更新を随時行いました。

(11) 医療安全対策の推進

・医療事故・医事紛争対策

- 1) 医療事故・医事紛争対策については、医療過誤の未然防止、医事紛争処理、医療賠償等の観点から、医療安全対策委員会において種々検討いたしました。さらに、実効性のある医事紛争解決と医療安全のあり方、医療事故調査制度について、医療安全対策小委員会で検討いたしました。
- 2) 日本医師会「医療安全対策委員会」に細川理事が委員として参加し、日本医師会長の諮問内容である「医療事故調査制度において医師会が果たすべき役割」について検討が行われました。

- 3) 日本医師会「医師賠償責任保険」の関係では、4月～3月までに23件日本医師会へ付託いたしました。また「日医医賠責特約保険」の加入者は、3月末現在で1,739名でありました。

・医療安全支援センター（苦情相談センター）

- 1) 4月～3月の相談受付回数は新規・継続ケースを合わせて1,660回となりました。相談窓口業務及び対応を相談員が担い、医療に関わる専門的な対応については、担当理事並びに医療安全支援センター（苦情相談センター）委員会の専門委員によって適切になされました。
- 2) 5月16日(土)愛知県医師会館9階大講堂において、平成27年度愛知県医師会医療安全支援センター（苦情相談センター）第1回講演会を開催いたしました。「医療者のプロフェッショナリズム」をテーマに、東京大学大学院医学系研究科医学教育国際研究センター教授・東京大学医学部附属病院総合研修センター総センター長 北村聖先生にご講演いただき、246名の参加者がありました。
- 3) 7月11日(土)愛知県医師会館9階大講堂において、平成27年度愛知県医師会医療安全支援センター（苦情相談センター）第1回事例検討会を開催し、379名の参加者がありました。
- 4) 9月12日(土)愛知県医師会館9階大講堂において、平成27年度愛知県医師会医療安全支援センター（苦情相談センター）第2回事例検討会を開催し、284名の参加者がありました。
- 5) 11月28日(土)愛知県医師会館9階大講堂において、平成27年度愛知県医師会医療安全支援センター（苦情相談センター）第2回講演会を開催いたしました。「医療事故調査制度について」をテーマに、中村・平井・田邊法律事務所 田邊昇弁護士にご講演いただき、281名の参加者がありました。
- 6) 11月22日(日)～23日(月・祝)に開催された「医療の質・安全学会第10回学術集会」で学会発表を行いました。
- 7) 1月22日(金)に開催された「平成27年度愛知県医療安全推進協議会」に参画し提言いたしました。
- 8) 1月23日(土)中区役所ホールにおいて、平成27年度愛知県医師会医療安全支援センター（苦情相談センター）第3回事例検討会を開催し、419名の参加者がありました。
- 9) 『愛知県医師会医療安全支援センター（苦情相談センター）事例検討会報告集2015』を作成し、会員始め関係機関へ配付いたしました。
- 10) 『愛知県医師会医療安全支援センター（苦情相談センター）県民向け小冊子』を増刷いたしました。

・医療安全対策

- 1) 県民向けの講習会として、10月7日(水)ウインクあいち小ホールにおいて、独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター小児科医長・アレルギー科医長二村昌樹先生を講師に迎え、「食物アレルギーとアナフィラキシーへの対応」の演題で開催いたしました。参加人数は99名でした。
- 2) 医療従事者向けの講習会として、12月8日(火)ウインクあいち大ホールにおいて、独立行政法人国立病院機構相模原病院小児科医長柳田紀之先生を講師に迎え、「アナフィラキシーガイドラインの理解と対応の実際」の演題で開催いたしました。参加人数は200名でした。
- 3) 医療従事者向けの講習会として、2月3日(水)ウインクあいち大ホールにおいて、名古屋大学医学部附属病院医療の質・安全管理部副部長安田あゆ子先生を講師に迎え、「明日の患者安全と医療の質向上を学ぶ」の演題で開催いたしました。参加人数は320名でした。
- 4) 医療安全対策委員会「勉強会」として、2月13日(土)名古屋東急ホテルにおいて、国立大学法人浜松医科大学総合人間科学講座法学教授大磯義一郎先生を講師に迎え、「医療安全を学ぼう」の演題で開催いたしました。参加人数は54名でした。
- 5) 平成22年度より医療安全対策の一環として運営している愛知県医師会剖検システムは、愛知県下四大学病院の病理部門のご協力をいただき順調な運営を続けております。
- 6) 医療事故調査制度の開始に当たり、愛知県下の医療事故調査等支援団体と協力、連携すべく、9月28日(月)に愛知県医療事故調査等支援団体連絡協議会を開催いたしました。

(12) 医療施設の整備

・共同利用施設並びに臨床検査精度管理

共同利用施設については、県下医師会の共同利用施設と連携しつつ、8月22日(土)・23日(日)にリーガロイヤルホテル大阪において開催されました「第26回全国医師会共同利用施設総会」に参加いたしました。また、11月3日(火・祝)には四日市都ホテルにおいて開催されました「平成27年度中部医師連合共同利用施設連絡協議会」に参加いたしました。臨床検査精度管理については、県下における臨床検査施設の実態把握と精度向上を図る目的で、直送方式の精度管理調査(血清学・血液学・病理学・生化学)を実施いたしました。

(13) 会員の福祉の向上

・労働保険事務組合

委託事業所数は90件(3.31現在)であり、前年度から減少はありませんでした。事務手続

きは社会保険労務士事務所へ委託しており、手続き件数は取得 84 件、喪失 71 件でした。

・生命保険団体取扱い

生命保険団体取扱事務の現状は、現在 8 社、契約人数 695 人、契約件数 1,056 件であり、月掛取扱保険料は、7,754 万余円でした。

・会員相談窓口

平成 22 年 9 月 1 日に会員福祉を目的として設置され、平成 24 年 4 月 16 日より一般相談と分けて専門の相談員による診療報酬に関する相談窓口を開設いたしました。

4 月～3 月の一般相談件数は 140 件あり、その内、医療安全対策委員会で諮られた事例は 0 件でした。また、診療報酬に関する相談は 120 件でした。相談の対応については、担当理事を始め、専門の相談員により適切になされました。

・新入会員等説明懇談会

平成 26 年 12 月から平成 27 年 4 月入会の新入会員を対象に 7 月 1 日(水)、平成 27 年 5 月から 11 月入会の新入会員を対象に 2 月 4 日(木)に開催し、「医師会の機構と運営・医師連盟・医師国保」、「保険医療関係」、「愛知県広域予防接種事業」、「医療安全」、「苦情相談、会員相談窓口」についてそれぞれ説明を行い、7 月 1 日(水)は 44 名、2 月 4 日(木)は 59 名の参加者がありました。

(14) 医師会及び医療関連団体との連携・県民への広報活動

(渉 外)

・中部医師会連合

平成 25 年度の委員総会において、役員任期を 7 月 1 日から翌年 6 月 30 日までの 1 年とする規約の改正が認められたことにより、6 月 30 日まで引き続き福井県が主務担当として、常任委員会 4 回、常任委員会懇談会 1 回、中部医師会連合日医代議員協議会 1 回が開催されました。また、7 月 1 日からは三重県が主務担当となり、常任委員会 9 回、常任委員会懇談会 1 回、中部医師会連合日医代議員協議会 1 回が開催され、いずれも当面する諸問題について協議、検討いたしました。11 月 21 日(土)には、三重県において委員総会が開催され、決算・予算等の承認が行なわれました。また、事務局長連絡協議会が 2 回開催されました。

・関西医師会連合

富山県が主務担当となり、京都市において関西医師会連合常任委員会が 8 月 1 日(土)に開催されました。次年度主務担当県は大阪府です。

(IT 化対策)

・ホームページ・IT 化対策

- 1) 遠隔地同士を結んだ遠隔会議システムについて、別会場からも会議に参加できるように設営いたしました。
- 2) 災害時安否情報確認システムについて、定期的に疎通確認を実施いたしました。また、登録者の追加等実施いたしました。
- 3) 過不足なく迅速に会員への情報提供を図るため、ホームページ及び愛医通信を運用し、内容の充実に努めました。
- 4) 災害対策、業務継続性の観点から、愛知県医師会ネットワークのデータセンター化実施を決定し、移行の具体的方策を検討して移行を進めました。

(広 報)

・広 報

平成 29 年 11 月実施予定の愛知県医師会 70 周年記念式典に向けて、平成 18 年度から平成 27 年度迄の 10 年間分の活動内容を纏めた医師会史を発行することを決定いたしました。医師会史編集委員会を立ち上げ、編集方針等についての協議を行いました。

・対外広報

報道関係者と毎月第 4 木曜日に懇談会を開催し、医療問題等について積極的に話し合いを行いました。

(15) 医師・医療関係従事者対策

(医師確保対策事業の推進)

・医師確保

本会では、平成 18 年 9 月 1 日より事務局内に愛知県医師会地域医療人材育成センター（ドクターバンク）窓口を開設し、医師の職業紹介事業を行っており、所長宮治眞先生管轄のもと、求職中の医師並びに求人中の医療機関等の間に立ち、両者の希望を面談にて確認した上で、条件等のマッチングを図りました。

求職医師と求人医療機関を引き合わせた後、採用が成立した場合は、勤務開始後 1～2 ヶ月後を目処に、紹介した医師並びに医療機関の間で条件のミスマッチが生じていないか調査し、両者の調整に努めました。3 月 31 日現在の紹介件数は 12 件（うち 3 件は採否結果待ち）で、採用件数は 8 件（うち 1 件は昨年度紹介分）でした。

また、広報面では、愛知医報並びにホームページにてドクターバンクに登録のある求人医療機関の情報発信を行い、求職医師に最新情報を随時提供するよう努めました。

この他、愛知県医師会勤務医部会幹事会にて事業報告を行い、愛知県内の病院幹部である

役員と事業運営に役立てるよう意見交換を行いました。

・男女共同参画

- 1) 近年、医療現場で働く女性医師数が増加している一方、医師としてのキャリアと家事・育児を両立する難しさ等、数多くの問題があります。昨今の医師不足の中、これからも増加していくであろう女性医師や女子医学生の活用は必要不可欠なことと考え、多くの諸問題に取り組みました。
- 2) 11月18日(水)に愛知医科大学で「医学生、研修医等をサポートするための会」を開催いたしました。
- 3) 12月2日(水)に愛知県医師会館で「女性医師の勤務環境の整備に関する病院長、病院開設者・管理者等への講習会」を開催いたしました。

(医療従事者対策)

・医療従事者対策

- 1) 医療従事者関係無料職業紹介所を常設し、取扱い職業を医療関係者とし、求人(75件)・求職(15件)の登録、紹介と斡旋を行いました。
- 2) 医療関連職検討委員会において、各看護学校より入学・卒業、准看護師資格取得状況等を報告され、問題点等を検討いたしました。また、愛知県下にて准看護師養成所の学生募集が円滑に行えるよう検討いたしました。
- 3) 医療事務員講習会を9月・10月・11月に開催いたしました。全15日間、30講座を行い、12月に認定試験を行った結果、88名が合格いたしました。
- 4) 愛知県地域医療再生計画に基づき、地域医療連携の必要性及びその具体的方策について習得することを目的とした「病院事務職員のための教育ワークショップ」を開催いたしました。今年度は7月11日(土)、11月28日(土)に開催し、延べ67名の参加者がありました。

(助産師学院)

- 1) 4月3日(金)に愛知県医師会館にて入学式が行われ、20名が入学いたしました。
- 2) 7月3日(金)、2月12日(金)に愛知県医師会館にて運営協議会が開催されました。
- 3) 3月11日(金)に愛知県医師会館にて卒業式が行われ、19名が卒業しました。

(医療秘書学院)

- 1) 平成27年度より学校法人電波学園 あいちビジネス専門学校(全日制)へ外部委託しており、今年度は97名が入学いたしました。
- 2) 10月30日(金)に第19回医療保険請求事務実技試験が行われ、68名が合格いたしました。
- 3) 2月7日(日)に第36回日本医師会医療秘書認定試験が行われ、62名が合格いたしました。
- 4) 3月10日(木)あいちビジネス専門学校の卒業式が行われ、77名が卒業いたしました。

(16) 会務運営・総務・財務

・会館整備

8月に火災報知設備の交換を実施し、消防点検に備え、全体の設備チェックを行いました。建物及び設備の法定調査における改善箇所を修繕いたしました。また、定期点検も各法に基づいて適正に実施いたしました。

・会館運営

清掃等各関係業者との保守管理または実施契約を結び、会館の維持管理に努めました。また、安全面の観点から平成28年4月1日より本会館を18時に施錠することを決定いたしました。

(17) その他

会 員 数 〈別表1〉

平成 28 年 3 月 31 日現在の本会会員数は 9,178 名で県下医師会別は下表の通りであります。

区 分	会 員 数
名古屋 市	3,548
一宮 市	576
瀬戸 旭	223
半田 市	121
春日井 市	291
津島 市	78
小牧 市	117
東海 市	99
岩倉 市	50
東名古屋 屋	221
西名古屋 屋	158
尾北	277
稲沢 市	133
海部	228
知多 郡	279
豊橋 市	491
岡崎 市	442
豊川 市	174
碧南 市	53
刈谷	245
豊田加茂	440
蒲郡 市	78
安城 市	205
西尾幡豆	120
北設楽 郡	8
新城 市	40
田原 市	47
名大	167
名古屋市 大	123
藤保 大	67
愛医 大	79
合 計	9,178

物故会員〈別表2〉

(平27.4～平28.4届出分)

氏名	年齢	地区	死亡年月日
筧 潔 様	88 歳	名古屋市南区	H26.12.29
加藤 ふみ 様	52 歳	名古屋市中村区	H27.1.2
大河内 和子 様	82 歳	蒲 郡 市	H27.1.11
保 條 朝 郎 様	82 歳	名古屋市昭和区	H27.1.30
河 村 宜 彦 様	95 歳	名古屋市南区	H27.2.7
伊 奈 博 様	64 歳	名古屋市名東区	H27.2.12
北 林 年 子 様	86 歳	名古屋市中村区	H27.2.13
野 口 和 良 様	98 歳	一 宮 市	H27.3.11
杉 浦 嘉 之 様	84 歳	名古屋市緑区	H27.3.11
馬 淵 圭 子 様	75 歳	東 名 古 屋	H27.3.14
斎 藤 久 様	91 歳	名古屋市中川区	H27.3.17
外 山 吟 子 様	88 歳	知 多 郡	H27.3.21
齋 藤 洋 一 様	85 歳	岡 崎 市	H27.3.24
高 橋 三 俊 様	80 歳	碧 南 市	H27.3.25
鏡 味 六 郎 様	85 歳	名古屋市天白区	H27.3.26
山 田 良 平 様	89 歳	豊 川 市	H27.3.30
中 尾 昭 様	88 歳	尾 北	H27.3.30
金 武 禧 之 様	83 歳	田 原 市	H27.3.31
馬 嶋 慶 直 様	87 歳	藤田保健衛生大学	H27.4.10
山 田 笑 子 様	92 歳	名古屋市中区	H27.4.11
安 藤 昭 見 様	88 歳	尾 北	H27.4.11
小 林 治 彦 様	95 歳	知 多 郡	H27.4.19
山 田 好 枝 様	87 歳	名古屋市南区	H27.4.19
後 藤 宗 治 様	81 歳	名古屋市千種区	H27.4.21
高 本 佐 喜 子 様	84 歳	名古屋市昭和区	H27.4.22
村 松 澄 之 様	82 歳	新 城 市	H27.4.23
福 井 和 彦 様	68 歳	名古屋市中川区	H27.4.24
大 山 子 郎 様	91 歳	一 宮 市	H27.4.25
成 田 友 徳 様	88 歳	名古屋市瑞穂区	H27.4.25

日比野 欽 治 様	93 歳	尾 北	H27.4.27
羽 柴 秀 一 様	92 歳	蒲 郡 市	H27.5.3
三 原 英二朗 様	53 歳	名 古 屋 市 昭 和 区	H27.5.14
杉 山 俊 雄 様	86 歳	西 名 古 屋	H27.5.16
藤 田 暢 夫 様	89 歳	名 古 屋 市 緑 区	H27.5.22
川 原 啓 美 様	86 歳	東 名 古 屋	H27.5.22
山 本 勝 彦 様	77 歳	田 原 市	H27.5.22
田 中 伸 一 様	94 歳	名 古 屋 市 東 区	H27.5.24
市 川 久喜男 様	88 歳	一 宮 市	H27.6.8
岡 田 守 功 様	79 歳	名 古 屋 市 港 区	H27.6.21
渡 會 錦 資 様	79 歳	田 原 市	H27.6.24
上 平 喜 習 様	95 歳	碧 南 市	H27.6.29
江 崎 茂 様	52 歳	安 城 市	H27.6.29
白 井 正 敏 様	90 歳	豊 橋 市	H27.7.2
徳 永 悟 様	84 歳	西 尾 幡 豆	H27.7.2
今 枝 陽之輔 様	87 歳	名 古 屋 市 千 種 区	H27.7.15
鳥 居 武 人 様	91 歳	名 古 屋 市 天 白 区	H27.7.18
則 武 克 彦 様	56 歳	一 宮 市	H27.7.19
伊 藤 俊 三 様	86 歳	海 部	H27.7.26
深 見 利 子 様	95 歳	西 尾 幡 豆	H27.7.31
向 井 英 子 様	87 歳	一 宮 市	H27.8.4
小 田 和 重 様	51 歳	蒲 郡 市	H27.8.9
渡 辺 俊 彦 様	61 歳	名 古 屋 市 南 区	H27.8.11
大 橋 育 子 様	100 歳	瀬 戸 旭	H27.8.16
山 本 昌 邦 様	89 歳	岡 崎 市	H27.8.21
深 見 弥 典 様	87 歳	春 日 井 市	H27.9.1
加 藤 義 昭 様	82 歳	名 古 屋 市 中 区	H27.9.3
野 村 武 様	88 歳	名 古 屋 市 中 川 区	H27.9.20
神 谷 夏 吉 様	70 歳	安 城 市	H27.9.21
澤 崎 善 昭 様	88 歳	名 古 屋 市 昭 和 区	H27.9.24
大 島 照 夫 様	84 歳	豊 橋 市	H27.10.2
リ M ア ー マ ン 様	67 歳	名 古 屋 市 千 種 区	H27.10.4

杉浦可准様	79歳	岡崎市	H27.10.13
平尾豊様	86歳	小牧市	H27.10.18
加野敏様	84歳	名古屋市昭和区	H27.10.20
春日井達造様	95歳	名古屋市千種区	H27.10.25
飯塚慧様	80歳	知多郡	H27.10.26
深田昭彦様	73歳	岡崎市	H27.11.2
渡邊尚様	82歳	一宮市	H27.11.4
村上敬様	91歳	名古屋市西区	H27.11.9
加賀谷穰様	81歳	春日井市	H27.11.9
上條浩子様	57歳	名古屋市中区	H27.11.14
岩田充弘様	90歳	名古屋市昭和区	H27.11.16
権田憲吉様	89歳	豊橋市	H27.11.21
松岡康彦様	79歳	名古屋市西区	H27.11.23
小林俊三様	75歳	名古屋市北区	H27.11.25
有井吉太郎様	78歳	名古屋市緑区	H27.11.28
谷野誠様	69歳	豊橋市	H27.12.1
林南雄様	74歳	一宮市	H27.12.3
藤田徹様	77歳	東名古屋	H27.12.4
野田剛毅様	56歳	岡崎市	H27.12.4
山田正様	90歳	海部	H27.12.8
神谷武様	82歳	豊田加茂	H27.12.9
脇田邦子様	86歳	一宮市	H27.12.11
向井英世様	87歳	一宮市	H27.12.13
柳瀬五四子様	95歳	尾北	H27.12.13
駒越喬貞様	90歳	名古屋市守山区	H27.12.19
松崎久様	88歳	名古屋市千種区	H27.12.20
榊永秀彦様	88歳	稲沢市	H27.12.23
中村邦夫様	87歳	春日井市	H28.1.6
塚崎整様	84歳	岡崎市	H28.1.13
鳥居晁様	97歳	西名古屋	H28.1.15
鈴木みき様	89歳	名古屋市中川区	H28.1.18
小林英治様	63歳	名古屋市天白区	H28.1.19

神 間 博 様	91 歳	春 日 井 市	H28.1.29
石 川 文 雄 様	71 歳	知 多 郡	H28.2.20
瀬 戸 博 様	83 歳	津 島 市	H28.2.25
酒 井 正 美 様	85 歳	名 古 屋 市 中 村 区	H28.3.1

会館会議室等使用状況

会場名		件数
B 1	講堂	53
4 F	理事会議室	66
5 F	501 会議室	146
6 F	601 会議室	100
6 F	研修室	123
7 F	情報センター研修室	31
8 F	801 会議室	115
8 F	802 会議室	115
8 F	803 会議室	98
8 F	804 会議室	91
8 F	805 会議室	65
8 F	応接室	50
9 F	大講堂	236
合計		1,289

平成 27 年度 日本医師会生涯教育講座

【産婦人科】	
日 時	平成 27 年 8 月 22 日 (土) 14 : 30 ~ 17 : 05
会 場	愛知県医師会館 9 階大講堂
共 催	愛知県産婦人科医会
司 会	名古屋市立東部医療センター 副院長 村上 勇
演題 1	母体保護法の適正な運用について
講 師	愛知県産婦人科医会理事 藪下廣光
座 長	公立陶生病院産婦人科主任部長 岡田節男
演題 2	着床前診断、着床前スクリーニングの現状
講 師	名古屋市立大学大学院医学研究科産科婦人科学教室講師 佐藤 剛
座 長	産科婦人科上野レディースクリニック院長 上野直樹
演題 3	医療事故調査制度 ～現時点で判っていること、判らないこと～
講 師	弁護士法人後藤・太田・立岡法律事務所弁護士 中村勝己
参加者 132 名	

【プライマリ・ケア講座】	
日 時	平成 27 年 8 月 26 日 (水) 13 : 30 ~ 16 : 30
会 場	愛知県医師会館 地下健康教育講堂
司 会	愛知県医師会生涯教育委員会副委員長 佐藤 徹
演題 1	認知症の予防と治療における最近の進歩と話題
講 師	名古屋市立大学大学院医学研究科神経内科学教授 松川則之
演題 2	ストップ肺炎！高齢者の肺炎予防戦略
講 師	トヨタ記念病院呼吸器科・化学療法科科部長 杉野安輝
演題 3	心房細動におけるトータルマネージメント
講 師	名古屋大学大学院病態内科学講座循環器内科学准教授 因田恭也
参加者 68 名	

【外科】	
日 時	平成 27 年 8 月 27 日 (木) 14 : 00 ~ 16 : 00
会 場	愛知県医師会館 地下健康教育講堂

共 催	愛知県外科医会
テーマ	心臓大血管疾患治療の現状と展望
司 会	愛知県外科医会生涯教育委員会委員長 早川直和
座 長	愛知県外科医会副会長 佐藤和郎
演題1	動脈瘤に対するIVR -大動脈瘤、大動脈解離、内臓動脈瘤を含めて-
講 師	愛知医科大学医学部放射線医学講座教授 石口恒男
座 長	愛知県外科医会理事 大岩靖典
演題2	心臓弁膜症外科治療のup-to-date -新規カテーテル治療の開始を踏えて-
講 師	名古屋大学大学院医学系研究科心臓外科学教授 碓氷章彦
参加者 37 名	

【眼科】	
期 日	平成 27 年 8 月 29 日 (土) 15:00~18:00
会 場	愛知県医師会館 9 階大講堂
共 催	愛知県眼科医会
司 会	愛知県医師会生涯教育委員会委員 中村 誠
演題1	iPS 細胞を用いた視神経の研究
講 師	国立研究開発法人国立成育医療研究センター 病院 眼科医長 研究所 視覚科学研究室長 東 範行
演題2	緑内障治療の過去・現在・未来
講 師	医療法人泰明堂福島アイクリニック院長 桑山泰明
参加者 140 名	

【内 科】	
日 時	平成 27 年 9 月 16 日 (水) 13:30~16:30
会 場	愛知県医師会館 地下健康教育講堂
共 催	愛知県内科医会
司 会	愛知県医師会生涯教育委員会委員長 太田 宏
テーマ	慢性腎臓病 (CKD) をめぐる最近の進歩と話題
演題1	かかりつけ医による慢性腎臓病 (CKD) 診療
講 師	名古屋市立大学地域医療連携センター センター長 吉田篤博

演題2	専門医による慢性腎臓病（CKD）診療
講師	名古屋大学大学院医学系研究科・医学部医学科 循環器・腎臓・糖尿病(CKD)先進診療システム学寄附講座准教授 安田宜成
参加者 70 名	

【精神科】	
日時	平成 27 年 9 月 17 日 (木) 14:00～16:00
会場	中日パレス 5階ク라운ホール
共催	愛知県精神科医会・愛知県精神科病院協会・愛知精神神経科診療所協会
司会	愛知県医師会生涯教育委員会委員 平山 太日子
テーマ	職場のメンタルヘルス・職場復帰のあり方 ～産業医の立場から、主治医の立場から～
演題1	職場復帰のあり方－精神科産業医の立場から－
講師	トヨタ自動車(株)人事部主査・統括精神科医 奥山真司
演題2	治療現場における復職の実際－治療者側からみた問題点とその対応－
講師	木村神経科院長 木村哲也
参加者 120 名	

【共通科】	
日時	平成 27 年 10 月 7 日 (水) 13:30～16:40
会場	愛知県医師会館 地下健康教育講堂
司会	愛知県医師会生涯教育委員会委員長 太田 宏
演題1	糖尿病をめぐる最近の進歩と話題 ー特に新薬と糖尿病合併症をめぐるー
講師	愛知医科大学医学部内科学講座 糖尿病内科准教授 神谷英紀
演題2	糖尿病性神経障害の診断から治療
講師	愛知医科大学医学部内科学講座 糖尿病内科准教授 神谷英紀
参加者 43 名	

【泌尿器科】	
期日	平成 27 年 10 月 17 日 (土) 16:30～18:30
会場	ウェスティンナゴヤキャッスル 2階 「銀」の間
共催	愛知県泌尿器科医会
司会	愛知県医師会生涯教育委員会委員 小島宗門

演題1	尿路結石治療の最前線
講師	名古屋市立大学大学院医学研究科 腎・泌尿器科学分野教授 安井孝周
演題2	尿路悪性腫瘍治療の最前線
講師	愛知医科大学泌尿器科学講座教授 住友 誠
参加者 72 名	

【耳鼻咽喉科】	
期 日	平成 27 年 10 月 24 日 (土) 16 : 00 ~ 18 : 00
会 場	愛知県医師会館 9 階大講堂
共 催	愛知県耳鼻咽喉科医会
司 会	愛知県医師会生涯教育委員会委員 西山禮二
座 長	愛知県医師会生涯教育委員会委員 西山禮二
演題1	脳の可塑性に注目した耳鳴り・難聴の新しい治療法
講 師	自然科学研究機構生理学研究所 統合生理研究系感覚運動調節研究部門准教授 岡本秀彦
座 長	愛知県耳鼻咽喉科医会理事 石田和也
演題2	診療所で行う短期滞在中耳手術 - 遭遇した問題点、行ってきた工夫 -
講 師	河野耳鼻咽喉科 Ear Surgi Clinic 院長 河野浩万
参加者 90 名	

【小児科】	
期 日	平成 27 年 11 月 29 日 (日) 14 : 30 ~ 17 : 00
会 場	愛知県医師会館 9 階大講堂
共 催	愛知県小児科医会
司 会	愛知県医師会生涯教育委員会委員 岡田純一
座 長	愛知県医師会生涯教育委員会委員 岡田純一
演題1	「いじめ問題」を疾患単位として捉える試み — 外来における対応の実際から、学校をはじめとする多職種との協働 —
講 師	昭和大学大学院保健医療学研究科
演題2	子どもの健康と環境に関する世界の取り組みの現状と環境省エコチル調査
講 師	名古屋市立大学大学院医学研究科環境労働衛生学分野教授 上島通浩
参加者 86 名	

平成 27 年度 愛知県医師会健康教育講座

回数	開催日	テ ー マ	講 師	参加者数
775	4月24日	健康長寿の鍵： ロコモティブシンドローム	国立長寿医療研究センター 病院長 原 田 敦	301
776	5月14日	泌尿器科の新しい手術 ～ロボット手術ってなんだろう～	名古屋大学泌尿器科 講 師 吉 野 能	161
777	5月16日	男性のおしっこの悩み 女性のおしっこの悩み	公立陶生病院 泌尿器科部長 中 野 洋二郎 名古屋第一赤十字病院 女性泌尿器科部長 加 藤 久美子	255
778	6月10日	ホクロのガン(悪性黒色腫)にご 用心	中京病院皮膚科 前部長 白 田 俊 和	168
779	7月22日	子宮体癌の診断から治療まで	名古屋大学産婦人科 准教授 柴 田 清 住	80
780	7月28日	認知症になっても幸せに暮らす には	碧南市医師会 会 長 杉 浦 勇 人	98
781	8月19日	がんの療養と緩和ケア	刈谷豊田総合病院疼痛緩和ケア科 部 長 梶 野 友 世	106
782	9月10日	『危険ドラッグ／脱法ハーブ』 について	愛知県立城山病院総合医療部 部 長 平 澤 克 己	70
783	9月19日	スポーツと健康	辻村外科病院 院 長 辻 村 享	148

784	10月1日	食物アレルギーの up to date	藤田保健衛生大学 坂文種報徳會病院小児科 講師 中島陽一	102
785	10月31日	リハビリテーションロボットが作る未来	藤田保健衛生大学 坂文種報徳會病院リハビリテーション医学I講座 教授 才藤栄一	131
786	11月12日	膵がんの診断と治療	名古屋セントラル病院 院長 中尾昭公	151
787	11月15日	大腸がんで死なないためにできること	岡崎市医師会公衆衛生センター診療部長兼消化器部 部長 和田恒哉	38
788	12月10日	COPD 診療の現状と課題	名古屋大学呼吸器内科 教授 長谷川好規	126
789	1月7日	中高年になったら気を付けたい眼底出血	愛知医科大学眼科 教授 瓶井資弘	228
790	2月14日	サルコペニアの現状	国立長寿医療研究センター 病院長 原田敦	40
791	2月24日	なぜ糖尿病は怖いのか？少しの工夫で今すぐ始めよう！あなたの未来を変える生活の知恵	糖尿病・内分泌内科クリニック TOSAKI 院長 戸崎貴博	281
792	2月26日	脳卒中 —治療、予防について—	蒲郡市民病院 副院長・脳神経外科診療局長 杉野文彦	10
793	2月29日	知って得する健康情報 笑って！食べて 健やか老後	名古屋学芸大学管理栄養学部 准教授 山内恵子	20
794	3月2日	睡眠時無呼吸症候群 —小児から成人まで 診断、治療について私たちはこうしています—	藤田保健衛生大学坂文種報徳會病院耳鼻咽喉科教室 教授 中田誠一	174

795	3月3日	筋力や心身の活力低下『フレイル』を防いで健康長寿をめざそう！	東海学園大学教育学部 教授 梶岡多恵子	30
796	3月7日	脳卒中 —治療、予防について—	蒲郡市民病院 副院長・脳神経 外科診療局長 杉野文彦	20
797	3月15日	知って得する健康情報 笑って！食べて 健やか老後	名古屋学芸大学管理栄養学部 准教授 山内恵子	38
798	3月16日	筋力や心身の活力低下『フレイル』を防いで健康長寿をめざそう！	東海学園大学教育学部 教授 梶岡多恵子	26

難病相談室取扱いケース内容

ケース		神 経	耳 鼻	眼	膠原病	皮 膚	骨・関節	腎 臓	循環器	消化器
	新規ケース	168	46	186	83	67	73	23	18	165
継続ケース	266	28	105	115	68	78	32	10	172	
計	434	74	291	198	135	151	55	28	337	
数		呼吸器	内分泌 及び代謝	脳外科	血液	小児	心身	血管外科	その他	合 計
	新規ケース	43	20	28	21	22	50	8	96	1,117
継続ケース	23	36	30	40	11	55	5	161	1,235	
計	66	56	58	61	33	105	13	257	2,352	

取 扱 い 内 容	アセスメント（重複）	
	疾病の背景要因の発見	1
	治療や療養生活への適応	1,341
	家族との関係や家族の生活	225
	職業・住居などの社会生活	298
	医療・生活などの経済面	350
	社会復帰への受入れと適応	337
	医療機関利用	274
	その他	117
	合 計	2,943
主なケースワーク措置		
応急的援助	0	
背景調査	10	
相談面接	1,028	
関係調整	1,064	
制度利用	131	
施設利用	2	
グループワーク	80	
その他	37	
合 計	2,352	

新 規 ケ ー ス 紹 介 者	医療機関	94
	保健所・保健センター	131
	福祉事務所	1
	その他公的機関	69
	本人又は家族	391
	広報・ポスター等	196
	新聞・ラジオ・テレビ	0
	その他	235
合 計	1,117	

生命保険団体取扱状況調

(平 28.3 月末現在)

会 社 名	契約人数	契約件数	月掛保険料
日 本 生 命	224 人	340 件	35,720,638 円
マ ス ミ ュ ー チ ュ ア ル 生 命	9	11	219,626
ジ ブ ラ ル タ 生 命	18	31	2,653,822
第 一 生 命	97	167	8,727,958
朝 日 生 命	42	61	2,563,534
明 治 安 田 生 命	93	130	7,688,294
三 井 生 命	145	225	12,362,203
住 友 生 命	67	91	7,608,518
合 計	695	1,056	77,544,593

平成 27 年度事業報告書（平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月）には「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

公益社団法人愛知県医師会

決 議

世界に誇れるわが国の国民皆保険制度は、すべての国民が必要な医療を安心して受けることを可能にしてきた。しかし、政府が推進する日本再興戦略の内容は規制緩和の名で医療に市場原理主義を持ち込もうとする動きがうかがわれる。「患者申出療養」の創設や営利企業の医療参入緩和などは、「混合診療」を拡大し、国民皆保険制度を形骸化させ国民に不利益な結果を招く危険性がある。

さらに、高齢化の進展に伴い社会保障費が増加する一方、消費税増税が先送りとなり、財源不足が懸念される。すべての国民が住み慣れた地域で質の高い医療・介護が受けられるよう安定的財源を確保すべきである。

また消費税には、国民と医療機関等に不合理かつ不透明な負担を生じさせている問題がある。すでに診療報酬・薬価には見えないかたちで消費税分のコストが含まれており間接的には受診者に消費税の負担を強いている。よって、これ以上患者負担を増やさない制度に改めるべきである。今後、さらに消費税が増税されることを考えれば、政府は早急に、これら医療に係る消費税問題を解決しなければならない。

以上より、我々は国民の健康と国民のための医療制度を守るために、下記のごとく決議する。

記

- 一、国民皆保険制度を堅持し、安心して安全な医療体制を構築せよ。
- 一、国民に必要なかつ十分な医療・介護を提供するための安定した財源を確保せよ。
- 一、医療に係る不合理な消費税問題を抜本的に解決せよ。

平成 27 年 6 月 20 日

愛知県医師会第 174 回（定例）代議員会

決 議

安倍政権は、アベノミクスは第2ステージに移ると宣言し、成長の推進力として「新三本の矢」を発表した。三本目の矢として「安心につながる社会保障」が挙げられたが、医療は盛り込まれず、介護離職ゼロの目標を掲げるも具体的施策はこれからである。

骨太の方針では社会保障関係費の伸びは、これからの三年間で高齢化の増加分一兆五千億円を目安とされ、今後も診療報酬改定・介護報酬改定の厳しい抑制が危惧される。

最近の診療報酬改定五回のうち三回はマイナス改定であり、本来診療報酬改定財源となるべき薬価改定財源は一般会計に回され、現時点では医療・介護には十分な手当てがされていない。

また、消費税には、国民と医療機関等に不合理かつ不透明な負担を生じさせている問題がある。今後、さらに消費税が増税されることを考えれば、政府は早急に、これら医療に係る消費税問題を解決すべきである。

国民の健康への願いは「国民皆保険」を実現させ、我が国は世界最高の健康水準を達成せしめた。今後さらなる超高齢社会を迎えるなかで、我が国が自信を取り戻し、発展をし続けていくためには、社会保障を充実させ、国民に将来の安心を約束していくことが重要である。

よって、本協議会の総意として、下記のごとく決議する。

記

- 一、国民に必要かつ十分な医療・介護を提供するための適切な財源を確保せよ。
- 一、国民と医療機関等に不合理な負担を生じさせている医療等に係る消費税問題を抜本的に解決せよ。

平成27年11月19日
愛知県国民医療推進協議会

